

1. 事務事業の目的・概要

|          |          |      |         |
|----------|----------|------|---------|
| 事務事業担当課長 | 次長 内田 詔巳 | 電話番号 | 22-6706 |
|----------|----------|------|---------|

|         |   |   |  |
|---------|---|---|--|
| 事務事業の名称 | 石見地域振興施策への支援  |   |  |
| 目的      | (1) 対象  | 石見地域市町・各種団体・企業等   |  |
|         | (2) 意図  | 対象市町・各種団体・企業等が単独又は複数で計画した、石見地域の振興に資する事業について、より大きな事業効果が生まれるように支援を行う。 |  |
| 事業概要    | 石見地域の活性化のため、市町等が行う地域振興策の実施に向けて、県庁内部の調整や石見地域施策推進費を交付することにより支援する。 |   |  |

2. 成果参考指標

| 成果参考指標名等 |      | 年度            | 27年度  | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | 単位 |
|----------|------|---------------|-------|------|------|------|------|----|
| 1        | 指標名  | 支援事業実施件数      | 目標値   | 3.0  | 3.0  | 3.0  | 3.0  | 件  |
|          | 式・定義 | 石見地域施策推進費実施事業 | 取組目標値 |      |      |      |      |    |
|          |      |               | 実績値   | 7.0  |      |      |      |    |
|          |      |               | 達成率   | —    | —    | —    | —    | %  |
| 2        | 指標名  |               | 目標値   |      |      |      |      |    |
|          | 式・定義 |               | 取組目標値 |      |      |      |      |    |
|          |      |               | 実績値   |      |      |      |      |    |
|          |      |               | 達成率   | —    | —    | —    | —    | %  |

3. 事業費

|              | 前年度実績 | 今年度計画  |
|--------------|-------|--------|
| 事業費 (b) (千円) | 8,345 | 10,000 |
| うち一般財源 (千円)  | 8,345 | 10,000 |

4. 改善策の実施状況

|                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む） |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

石見地域全体の情報発信力が不足している。（「石見地域」の知名度が低い。）

6. 成果があったこと（改善されたこと）

石見地域施策推進費による支援

- ・ 県内外のバイヤーや一般消費者に対して、各市町の特産品の商談会、即売会マッチングする場を設定  
商談件数 57件
- ・ ふるさと納税制度を活用した、石見地域9市町が連携した取り組みへの支援
- ・ しまね田舎ツーリズムの冬期プログラムの実施を支援することによる、交流人口の拡大
- ・ 地域の地場産業である瓦産業をテーマとしたモニターツアーの企画

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」  
「石見地域」の知名度が低い。

②困っている状況が発生している「原因」  
石見地域全体の情報発信力が不足している。

③原因を解消するための「課題」

- ・ U・Iターン者による定住の促進や、交流人口の拡大による、外部の目を通した情報発信が必要。
- ・ 市町相互の連携による石見地域としての機運の高まりと、受入態勢の整備。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

各市町の地域資源を活用し、各市町が単独ではなく、石見地域全体として情報発信を行っていく必要がある。（情報発信の手段や情報発信先の選定など要検討。）

9. 追加評価（任意記載）